

令和8年度 第3回「教育委員会主催 研修会」開催要項

1. テーマ

「多職種連携を考慮した遺体収容所設営計画の策定－机上実習－」

2. 目的

- ・災害時に設置される遺体収容所の役割および基本的な運営体制を理解する
- ・遺体収容所における人員配置、動線、作業工程を検討する
- ・災害犠牲者身元確認（DVI）における多職種連携の重要性を理解する
- ・机上訓練を通して、災害時に求められる実践的な思考力を養う

3. 日時（予定）

令和8年5月16日（土） 17:30～19:30

※第20回日本法歯科医学会学術大会前日に開催します。

4. 会場

鶴見大学記念館3階 セミナー室3（横浜市鶴見区鶴見2-1-3）

5. 研修概要

大規模災害が発生した際には、多数の犠牲者が発生することが想定され、迅速かつ適切な災害犠牲者身元確認（DVI）体制の構築が求められます。その中で、遺体収容所の設置と運営は、身元確認作業を円滑に進めるための重要な基盤となります。しかしながら、実際の災害現場を想定し、遺体収容所の運営体制や作業動線について具体的に検討する機会は限られているのが現状です。

本研修では、岩手医科大学において実施されている実践的な訓練内容をもとに、遺体収容所の設置および運営体制について机上訓練形式で実習を行います。参加者はグループごとにディスカッションを行いながら、遺体収容所のレイアウト、人員配置、作業動線等について検討し、災害時に求められる体制や役割分担を具体的に理解します。歯科医師をはじめ、警察、自治体、医療関係者など多職種の連携を検討することで、DVI活動におけるその重要性について理解を深めることを目的としています。

- ・講師：岩手医科大学法科学講座法歯学・災害口腔医学分野 熊谷章子 教授
- ・インストラクター：教育委員会委員ほか数名

6. 募集対象者

災害時の身元確認業務に関心のある歯科医師、歯科衛生士、医師、看護師、警察関係者、自衛隊関係者、海上保安関係者、自治体職員、行政職員等、多職種の方の参加を歓迎します

7. 定員

15名程度（5班編成、1班3名）

※少人数制の机上訓練形式で実施します。

※各班にはインストラクターが配置され、実務経験を踏まえた助言を行います。

※定員に達し次第、募集を締め切ります。

※参加の可否については、教育委員会より後日連絡いたします。

8. 申込締切

令和8年5月2日（土） ※定員に達し次第、締め切り

9. 申込方法

参加申込書を教育委員会委員長 坂東（下記アドレス）までお送りください。

「risa1127@koto.kpu-m.ac.jp」

10. 受講料

*学会会員、学会非会員（学生）は無料

*学会非会員は1000円（当日、受付で現金でお支払いいただきます）

主催：日本法歯科医学会 教育委員会

研修会に関する問い合わせ先：risa1127@koto.kpu-m.ac.jp

教育委員長 坂東 李紗（ばんどう りさ）